

技術・家庭科 学習指導案

日 時：平成21年9月29日（火） 第2校時
場 所：佐賀市立大和中学校 木工室
学 級：第1学年1組 男子21名、女子20名
指導者：佐賀県教育センター 所員 下川 登志雄

1 題材名 情報ネットワークの利用「個人情報の流出」

2 題材設定の理由

最近の科学技術の進歩により、コンピュータや情報機器としての携帯電話、一般家庭への高速通信回線の普及率は急速に伸びてきており、生徒が情報通信ネットワークに触れる機会も増えてきている。一方学校でもインターネット利用を取り入れた授業なども盛んに行われており、生徒は身近に情報通信ネットワークを利用するようになってきている。情報通信ネットワークを用いると、さまざまな情報を入手することができ、情報発信も手軽に行うことができる。しかし、一方でフィッシング、個人情報の流出、誹謗中傷や著作権の侵害など、加害者、被害者になってしまうことも考えられる。このような状況の中、間違った情報や有害情報等に惑わされず、必要な情報を正しく選択し、社会的なルールやマナーを尊重して情報発信できる能力は不可欠である。学校においては、情報モラルの重要性を認識し、家庭や地域と連携を図りながら、生徒の実態や発達段階に応じて、生徒に情報モラルを身に付けさせるための働きかけを行う、いわゆる「情報モラル教育」を行うことが求められている。

生徒のコンピュータやインターネットなどの情報通信ネットワークへの興味・関心は非常に高く、家庭でコンピュータを使える環境が整っている生徒数はほぼ半数を超えている。しかし、十分な情報モラルをもたないまま、生徒がネットワーク社会に参画していった場合さまざまなトラブルに巻き込まれる可能性がある。

情報モラルの指導については、実際にインターネットや情報通信ネットワークを用いて体験的な授業を行うことが難しく「～してはいけない」「～を使うときは注意しましょう」などといった注意的な指導や対症療法的な方法になってしまいがちである。そこで今回の学習では、個人情報とはどういうものであるかを知り、その扱いについて個人で考えたり、班での意見交換等の活動を通して判断力を養いたいと考えている。

3 指導目標

- (1) 情報通信ネットワークに興味をもち、活用する。
- (2) ネットワーク社会を営む上での必要なマナーやルールを理解する。
- (3) ネットワーク社会で、お互いに迷惑をかけることのないような行動の仕方を身に付ける。

4 評価規準

観点	関心・意欲・態度	工夫創造	生活の技能	知識・理解
題材の評価規準	① コンピュータに関心をもち、情報手段の発達や情報化の進展が、生活や産業をどのように変化させてきたのかについて考えようとする。 ② 情報化が社会や生活に及ぼす影響と情報モラルの必要性について考えようとする。	① コンピュータなどの情報機器や情報通信ネットワークを効果的に活用することができる。 ② 生活の中でコンピュータを有効に活用することができる。	① 情報化が社会や生活に及ぼす状況や情報モラルに配慮しながら情報発信することができる。 ② 健康に配慮してコンピュータを使うことができる。	① 情報手段の発達してきた過程や特徴、及び情報化の進展に関する知識を身に付ける。 ② コンピュータの利点を生かした利用方法に関する知識を身に付ける。 ③ 情報社会の特徴や情報化の進展がもたらす影響について理解する。

5 指導計画（4時間）

- | | |
|-----------------------|---------|
| (1) 個人情報について知ろう | 1時間（本時） |
| (2) 著作権について調べよう | 1時間 |
| (3) 情報を検索しよう | 1時間 |
| (4) メールについて知ろう | 1時間 |

6 本時の指導

- (1) ねらい
 - ・ 個人情報の種類について理解する。
 - ・ 個人情報がインターネット上でどのように扱われる可能性があるかを知り、個人情報保護の態度を身につける。

(2) 本時の展開 (50分)

段階	生徒の活動	教師の支援	評価の観点・方法
導入	1. 本時の学習内容を知る。 個人情報を聞き出されたり、知らない会社から電話がかかったりしたことがないか話し合う。	○学習内容を知らせる。 ・班の中で話し合う。 ・個人で発表させる。	
展開	2. 個人情報について知る。 ・説明を聞き、個人情報を知る。 ・個人情報にはどんなものがあるか考える。 3. なぜ個人情報を収集するページがあるのか考える。 4. 資料を読んで考える。 ・T子さんの立場でサイトに登録するかしないか考える。 ・グループ内で意見を出し合う。 ・他のグループの意見を聞く。 ・その後の話を聞く。 ・被害に合わないようするにはどうすればよいか考える。 ・グループ内で意見を出し合う。 5. 正しい対応方法を知る。	○個人情報について説明する。 ・個人情報と思われるものについて発表させる。 ○懸賞サイトを見せて考えさせる。 ・理由を発表させる。 ・インターネットを用いると、情報を集めることが簡単であることに触れる。 ○資料を読む。 ・サイトに登録するかどうか考えさせる。 ・グループ内で意見を出させ、代表者に発表させる。 ・T子のその後の話をする。 ・被害に合わないためにどうすればよいか考えさせる。 ・グループ内で意見を出させ、代表者に発表させる。 ○対応方法の例を説明する。 ・大人に相談することに触れる。 ・個人情報を扱うサイトがすべて悪いわけではないことも触れる。	(知識・理解③) ワークシート ※支援－正確に理解させる。 (関心・意欲・態度②) ワークシート、発表 ※支援－発表等をヒントにワークシートにまとめさせる。 (関心・意欲・態度②) ワークシート、行動観察 ※支援－グループ内の意見をもとに考えさせる。
まとめ	6. 本時の内容をまとめる。 ・ワークシートの「学習のまとめ」を記入する。	○本時の内容を振り返らせ、内容を確認させる。 ・学習の成果を確認し、これから情報ネットワークを扱う際に気を付けるよう意識付ける。	